

新型コロナウイルス感染拡大防止のため

換気をしましょう

「換気の悪い密閉空間」は新型コロナウイルス感染症のリスク要因の1つです。室内を快適に保ちながら、適切に換気をしましょう。

換気設備を運転していますか？

建物に組み込まれている常時換気設備や給湯室などの換気扇により、室温を大きく変動させることなく換気を行うことができます。

【換気量を増やす工夫】

- ・常時換気設備や換気扇を常時運転する
- ・定期的にフィルタの掃除を行う
- ・強弱スイッチがある場合は強運転にして換気量を増やす
- ・通気口を柵やラック等でふさがない

室内の空気環境の確認

室内の空気環境は温湿度計やCO₂モニターを使って確かめることができます。

二酸化炭素の濃度 1,000ppm 以下が
十分な換気をしている目安になります。

※空気清浄機を併用している場合は
二酸化炭素濃度では評価できません

室内の空気環境の目安	
温度	17°C~28°C
相対湿度	40~70%
二酸化炭素	1000ppm 以下

二酸化炭素の濃度を
計測しています



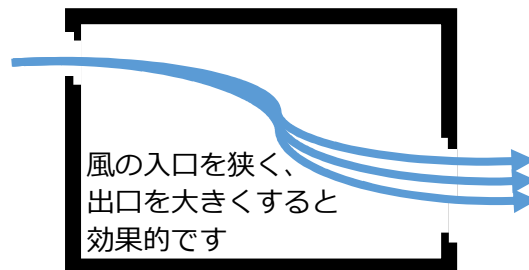
CO₂モニターの例

窓開けによる換気

換気用ダクトにつながっていないエアコン（一般の家庭用エアコン）は、室内の空気を循環させるだけで、換気機能はありません。換気設備を運転しても換気量が足りない場合は、窓などを開けて外気を取り入れます。

対角2方向の窓（またはドア）を開ける

窓開けは1回数分程度、30分に1回以上

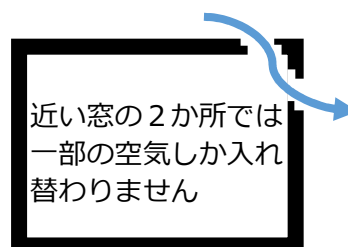


風の入口を狭く、
出口を大きくすると
効果的です

○ 良い例

さらに換気の効果을あげるためには

- ・一部屋あたりの在室人数を減らす
- ・間仕切りを設置する場合は、空気の
流れを妨げない方向や高さとする



近い窓の2か所では
一部の空気しか入れ
替わりません

× 悪い例

季節に応じた換気の方法

夏 熱中症を予防するために

換気のために窓を開ける場合は、エアコンの温度を低く設定する

〔こまめな水分補給や健康管理などにも留意が必要です〕

冬 室内の温湿度の変化を抑えるために

- ・暖房器具を使用しながら、一方向の窓を常時少しだけ開ける
- ・二段階換気（人がいない部屋の窓を開け、廊下を経由して、少し暖まった状態の新鮮な空気を人のいる部屋取り入れる）する
- ・加湿器を使用する
- ・開けている窓の近くに暖房器具を設置する（カーテンからの火災に注意）

気温の変化が大きくなるため窓を十分に開けられない場合には、換気不足を補うために、HEPA フィルタ(※)によるろ過式の空気清浄機を併用することが有効です。

(※) HEPA フィルタは、「高性能エアフィルター」とも呼ばれることもあり、国内メーカーの多くの空気清浄機で使用されています。空気中に含まれる微粒子を取り除くことができます。

感染防止のための業種別ガイドラインの遵守について

感染防止のための業種別ガイドラインが各業界団体等により、作成・公表されています。クラスター発生防止のため、各業種に応じたガイドラインの遵守をお願いします。業種別ガイドライン一覧の詳細は次の URL または QR コードからご覧ください。

<参考> 新型コロナウイルス感染症対策について（生活衛生関係事業者のみなさま）
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/hokenjo/kansensyotaisaku.html>



新型コロナウイルス感染拡大予防のために

換気で密閉を避けるほか、密集・密接の回避、マスクの着用、手洗いや消毒の励行などをお願いします。

お問合せ先（各福祉保健センター生活衛生課）

福祉保健センター	電話番号	福祉保健センター	電話番号
鶴見区	045-510-1845	金沢区	045-788-7873
神奈川区	045-411-7143	港北区	045-540-2373
西区	045-320-8445	緑区	045-930-2368
中区	045-224-8339	青葉区	045-978-2465
南区	045-341-1192	都筑区	045-948-2358
港南区	045-847-8445	戸塚区	045-866-8476
保土ヶ谷区	045-334-6363	栄区	045-894-6967
旭区	045-954-6168	泉区	045-800-2452
磯子区	045-750-2452	瀬谷区	045-367-5752

※業種別ガイドラインについては各ガイドライン発出元にお問合せください。